

北京展示会 概要

本展示会は、日本への医療渡航受診者数が最も多い中国で最大規模の医療渡航展示会である。人間ドック健診、粒子線治療をテーマとして、日本各地から7医療機関、4医療渡航支援企業及び日本人間ドック学会とともにブース出展・講演を行い、オールジャパン体制で日本への医療渡航を訴求した。

開催地	中国・北京
イベント名称	The 14th Beijing International Medical Tourism Fair (第十四届北京国际医疗旅游展览会)
出展期間	2019年11月22日(金)～24日(日)
来場者数	16,752人
出展団体	283団体
MEJ ブース 出展団体 11団体	<ul style="list-style-type: none"> 相澤病院 岡山旭東病院 国立がん研究センター東病院 聖路加国際病院 津山中央病院 藤田医科大学病院 メディポリス国際陽子線治療センター (株)JTB (JMHC) 日本エマージェンシーアシスタンス(株) (株)アイセルネットワークス Medi Hub(株)
出展テーマ	<ul style="list-style-type: none"> 粒子線治療 人間ドック



MEJブース 外観



個別商談・相談

■ 出展目的

- 日本の医療技術・サービスのさらなる認知度向上
- 政府のガイドラインに基づいた、医療機関（JIH）と認証医療渡航支援企業（AMTAC）の患者受入れ体制のアピール
- 地方インバウンドに関するプロモーション
- 中国における医療渡航受診者、渡航支援業者の動向を深堀調査し、中国におけるプロモーション方法の向上につなげる

■ ブース内での商談・相談件数（3日間計）

商談 1,110件、一般来場者相談 414件 計1,524件

■ ブース内プレゼン聴講者数（4回計） 延べ200人以上



日本人間ドック学会篠原理事長 全体会場講演



出展団体 ブース内セミナー